総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会（第26期・第6回）
議事要旨

1. 日時 令和7年4月28日（月）10:00～12:00
2. 会場 ハイブリッド開催
オンライン：Zoom
現地会場：東京大学環境安全研究センター辻教授室
（浅野キャンパス情報基盤センター4F411号室）
3. 出席委員（敬称略）
越塚 誠一、遠藤 薫、大倉 典子、小野 恭子、鎌田 実、庄司 裕子、須田 義大、
丹下 健、辻 佳子、西田 佳史、野口 和彦、藤井 健吉、水野 毅、宮崎 久美子、
持丸 正明、岸田 伸幸
4. 配布資料
資料1 第26期・第5回議事要旨
資料2 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リ
スク検討分科会活動報告
資料3-1 意思の表出の申出書（案）「先進技術システムのリスクアセスメントの構造
について」（報告）
資料3-2 意思の表出の申出書（案）「老朽・遺棄化学兵器廃棄にかかる課題とリスク
管理に関する今後の在り方」（見解）
資料3-3 意思の表出の申出書（案）「カーボンニュートラル施策推進のためのリスク
検討フレーム」（報告 or 見解）
資料4-1 安全工学シンポジウム2025第3回実行委員会資料抜粋
資料4-2 公開シンポジウム「安全工学シンポジウム2025」の開催について
5. 議事次第
 - (1) 前回議事要旨確認
第5回議事要旨を確認した。
 - (2) 分科会活動報告について
資料2に基づき、辻委員長から、分科会の第26期2024年度末までの分科会活動報告
が行われた。

(3) 意思の表出の申出書について

資料 3-1 に基づき、野口委員から、「先進技術システムのリスクアセスメントの構造について」（報告）（案）の説明が行われ、議論した。

資料 3-2 に基づき、小野委員と岸田委員から、「老朽・遺棄化学兵器廃棄にかかる課題とリスク管理に関する今後の在り方」（見解）（案）の説明が行われ、議論した。

資料 3-3 に基づき、平尾委員に代わり、辻委員長から、「カーボンニュートラル施策推進のためのリスク検討フレーム」（報告）（案）の説明が行われ、議論した。

申出書の修正は、担当者と進め、最終案は、委員長一任で提出することの承諾を得た。

(4) 安全工学シンポジウムについて

資料 4-1 と資料 4-2 に基づき、辻委員長より、安全工学シンポジウム 2025 の内容確認がなされた。野口委員から、パネル討論会「リスク概念を活用した安全な産業社会の構築 II」について説明が行われた。庄司委員から、OS「新技術に対する安心感の理解と社会受容」について説明が行われた。平尾委員に代わり、辻委員長より、OS「カーボンニュートラル施策のリスク検討フレーム」の説明が行われ、また、関連する OS「フロン系冷媒の代替に伴うリスクについて」の説明が行われた。

(5) 各小委員会等報告

野口委員から、「変化する技術・社会における工学システムの安全とリスク検討小委員会」の報告が行われた。

小野委員と岸田委員から、「老朽及び遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会」の報告が行われた。

庄司委員から、「工学システムに対する安心感等検討小委員会」の報告が行われた。

(6) その他

特になし。